エコアクション21
認証番号0004511

環境経営レポート

エコアクション21

（対象期間：2023/6～2024/5）

目 次

■ 環境経営方針 ---------- 1
■ 事業の概要 ---------- 2
■ 環境経営目標 ---------- 4
■ 環境経営計画・実績管理表 ---------- 5
■ 環境経営目標の達成状況及び評価 ---------- 6
■ 環境関連法規等の遵守状況の確認
及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無 ------ 13
■ 次年度（2024年度）の環境経営計画 ---------- 14
■ 環境経営計画の取り組み抜粋（2023年度） ------ 15
■ 代表者による全体評価及び見直し・指示 ------ 16

協同組合　小糸製作所協力会

作成 ： 2024年　7月　22日

環 境 経 営 方 針

【環境理念】

協同組合小糸製作所協力会は、経営理念に基づき、本業である共同物流事業及び会員企業に対する教育・情報発信事業を通じて、地球温暖化問題へ自主的・積極的に取り組みます。安全で安心な共同物流を会員各社に効率良くタイムリーに提供することが、当協同組合の一番の環境対策と考え、従業員一丸となって継続的に改善活動に取組んでまいります。

【基本方針】

当社は環境理念に基づき、以下の基本方針を定め、継続的な環境経営を展開します。

1．二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量等の削減に努めます。
　1）電気、LPG、軽油、ガソリン等の使用量削減に努めます
　2）3R活動の展開による廃棄物の削減に努めます
　3）節水活動による水使用量の削減に努めます

2．環境関連法規等の遵守
　環境関連法規制を遵守します。

3．環境に配慮した共同物流
　環境に配慮し効率的な運行を推進します。

4．環境経営の継続的改善
　環境に配慮した物流事業を中心に環境経営の継続的改善を行います。

5．環境コミュニケーションの実施
　1）社外に環境経営レポートを公開し、社会とのより良いコミュニケーションを図って行きます。
　2）社内においては、全従業員に環境経営方針を周知し、全社員参画による取組を目指します。
　3）小糸製作所協力会　会員企業の環境経営計画への取組を推進します。

制定年月日：2009年1月15日
改定年月日：2018年8月1日
協同組合 小糸製作所協力会
専務理事　松久保 統一

2. 事業の概要

1. 事業所概要

名称	:協同組合 小糸製作所協力会
所在地	:〒424－0061　静岡県静岡市清水区大内256－1
設立	:1980年2月1日
出資金	:40,200千円
従業員数	:25名
地域指定	:市街化調整区域
敷地面積	:3567㎡
建物面積	:1978㎡
延床面積	:3610㎡

2. 代表者

専務理事	:松久保統一

3. 環境管理責任者

課長	:川口晃一
連絡先	:Tel 054-348-2533　Fax 054-348-2551 E-mail　kawaguchi@kyouryokukai.jp

4. 取組の対象組織、活動　:物流センター内、全組織・全活動

5. 沿革

1980年2月	:協同組合 小糸製作所協力会　設立 事務所と共同倉庫を静岡市清水区堀込に設置
1981年8月	:事務所と共同倉庫を静岡市駿河区中吉田へ移転
1997年2月	:組合物流センター（事務所・共同倉庫）を静岡市清水区大内へ建設し、移転
2010年1月	:エコアクション21認証登録

6. 事業概要

小糸協力会会員企業に対する物流や教育等に関するサービス事業

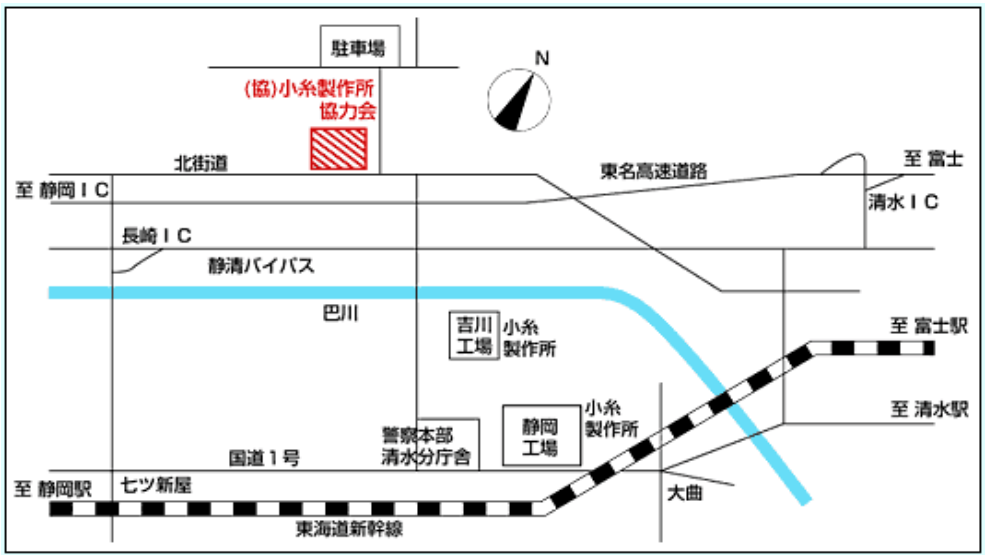
- ・会員企業の得意先への部品納入に於ける共同集配事業
- ・会員企業の納入部品の物流センターでの共同保管と入出庫事業
- ・会員企業の経営と技術の改善向上を図るための教育及び情報の提供
- ・会員企業及び会員企業の従業員に対する福利厚生事業

URL　https://koitokyo.jp/

7. 事業形態

事業年度	:6月～5月
年間稼動日数	:247日
就業時間	:8:10～17:00

7.　敷地概要



8.　推進組織

協同組合 小糸製作所協力会　事務局組織

2024/5/31時点

代表者　　専務理事　松久保　統一

環境管理責任者　課長　　川口　晃一

廃棄物管理責任者　　芳野　雅光

エコ21推進委員会

物流1課　次長　（部門管理者）　物流2課　次長　（部門管理者）　管理G　課長　（部門管理者）

＊実施体制における役割・責任及び権限

①代表者
- ・環境経営システムの構築、環境経営マニュアルの制定並びに見直し・指示
- ・部門管理責任者の任命
- ・経営における課題とチャンスを踏まえ、環境経営方針・環境経営目標の決定並びに見直し、環境経営計画の承認
- ・環境経営システムに必要な経営資源（人材・設備・資金等）の準備
- ・緊急事態発生時の統括

②環境管理責任者
- ・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画の立案、環境経営推進状況の代表者への報告
- ・該当環境関連法規等の把握と管理
- ・環境経営システムに関する規定類の整備、環境関連教育の統括
- ・緊急事態発生時の対応実施と報告
- ・エコ委員会の招集・運営

③部門管理者
- ・環境経営計画の推進
- ・該当環境関連法規等の遵守状況把握
- ・環境教育・訓練の実施

3. 環境経営目標

＜中期目標＞

作成：2024.6.1

項目	単位		2016年度 (2016/6～5)	2022年度 (2022/6～5)	2023年度 (2023/6～5)		2024年度 (2024/6～5)	2025年度 (2025/6～5)
			*基準年度	実績	目標	実績	目標	目標
稼働日	日		244	244	244	247	244	244
トラック台数	台		70	－	80	－	80	80
CO2排出量の削減	%	－	－	－	△3.0%	－	△3.5%	△4.0%
〔化石燃料の削減〕	kg-CO2	年	109,490	78,460	66,483	56,031	9,556	6,973
排出係数： 0.490kg-CO2/kwh （平成26年度実績　鈴与商事㈱　実排出係数） 2022年9月から 0.513kg-CO2/kwh （中部電力㈱　実排出係数） 2023年4月から2023年12月まで 0.377kg-CO2/kwh （中部電力ミライズ　実排出係数）	総量	日	448.7	321.5	272.5	226.8	39.2	28.6
	kg-CO2 原単位	台	1,564.1	1,046.1	831.0	700.3	119.5	87.2
内、軽油使用量削減	%	－	－	－	△3.0%	－	△3.5%	△4.0%
	ℓ	年	1,418	1,179	1,381	3,407	1,376	1,359
	総量	日	5.8	4.8	5.6	13.8	5.6	5.6
	ℓ 原単位	台	20.3	15.7	17.2	42.5	17.2	17.0
電力使用量削減	%	－	－	－	△3.0%	－	△3.5%	△4.0%
〔使用電力の削減〕	kWh	年	137,231	92,010	133,251	103,544	132,772	131,968
※CO2排出量の算出 2023年12月から中部電力ミライズの静岡Greenでんき（CO2排出実質ゼロとするメニュー）を導入。 この為、2023年12月からCO2排出量の算出から電力使用量を除外。	総量	日	562.4	377.0	546.1	419.2	544.1	540.9
	kWh 原単位	台	1,960.4	1,226.8	1,665.6	1,294.3	1,659.7	1,649.6
LPG使用量削減	%	－	－	－	△3.0%	－	△3.5%	△4.0%
〔LPG使用量の削減〕	kg	年	11,640	8,747	11,293	7,577	11,246	11,181
※CO2排出量の算出 2024年7月からの㈱TOKAIのカーボンニュートラルLPG（CO2排出実質ゼロとするLPG）を導入。 この為、2024年7月からCO2排出量の算出からLPG使用量を除外。	総量	日	47.7	35.8	46.3	30.7	46.1	45.8
	kg 原単位	台	166.2	116.6	141.1	94.7	140.6	139.8
廃棄物排出量の削減	%	－	－	－	△12%	－	△14%	△16%
〔廃ブラ・紙類等の削減〕	kg	年	8,998	117,714	7,918	43,547	7,738	7,558
	総量	日	36.9	482.4	32.5	176.3	31.7	30.9
	kg 原単位	台	128.5	1569.5	98.9	544.3	96.7	94.4
水使用量の削減	%	－	－	－	維持管理	－	維持管理	維持管理
〔上水道使用量の節水〕	㎥	年	964	766	964	1215	964	964
		日	3.9	3.1	3.9	4.9	3.9	3.9
グリーン調達の推進(エコマーク商品の購入)			－	調達比率56%	調達比率30%以上	調達比率56%	調達比率32%以上	調達比率34%以上
環境経営推進(会員企業のEA21認証取得)			－	0社	1社新規取得	0社	1社新規取得	1社新規取得
自社テーマ	CO2排出削減効果の検証		－	－	効果検証継続	－	効果検証継続	効果検証継続
	BCPの推進		－	－	推進維持	－	推進維持	推進維持

（台）の定義・・・・（台）とは納出入で出入りしたトラックの台数を表しており、原単位は1台当たりの使用量を表しています。
廃棄物排出量は、一般廃棄物と産業廃棄物の総排出量合計である。

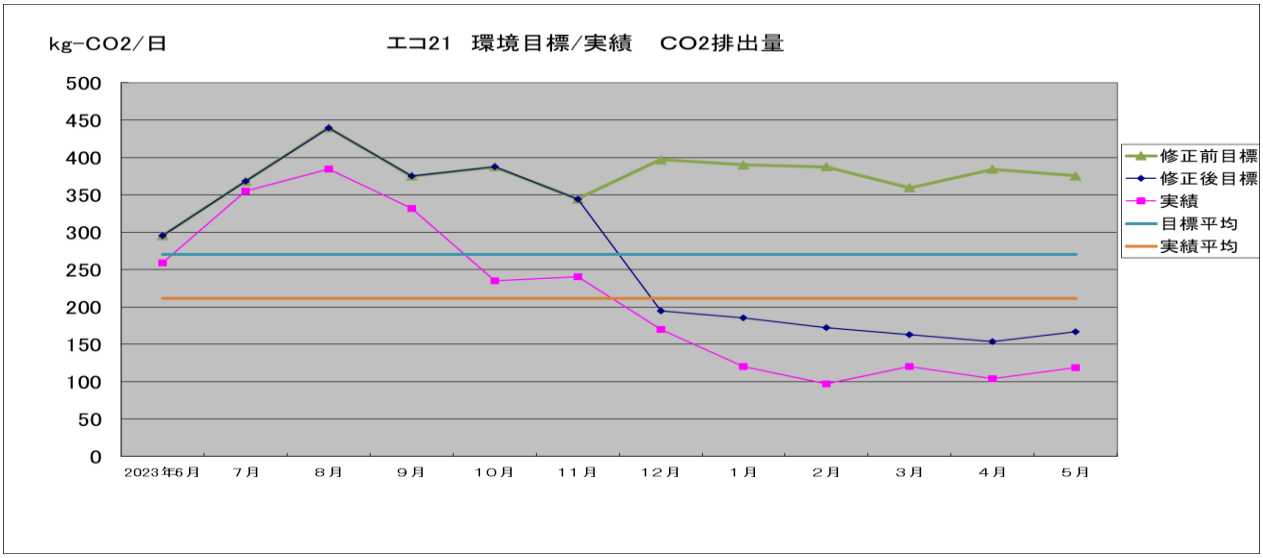
4. 環境経営計画・実績管理表（月別）（2023年度）

2024.5.31

No	狙い	テーマ 項目	テーマ 内容	活動目標	重点項目	担当課	担当者	ﾁｪｯｸ頻度	実施状況（計画：⟺ 実施済：⟷） 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
1	CO2排出量削減	エアコン管理	エアコンの設定温度見直し	季節別温度設定（夏27℃、冬20℃）		共通	瀧・青山 青野	毎日	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷
2		LED灯	未消灯エリアの拡大	ゾーン別SW活用、LED灯の間引き点灯		共通	川口・中村 青野	毎日	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷
3		フォークリフト管理	安全運転（速度リミッター及びドライブレコーダー）	ドライバーへの安全運転啓発活動推進、ドライブレコーダーの確認		1課	芳野・深澤	毎日	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷
4			未使用時エンジン停止	ステッカー貼付、維持確認		1課	芳野・深澤	毎日	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷
5			ﾌｫｰｸﾘﾌﾄの更新	フォークリフトをLPG車からバッテリー車へ更新		1課	伴野	'23/6月～24/5月	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷
6		契約電力の見直し	電力監視デマンド装置の活用	アラーム発生時のｴｱｺﾝ使用抑制の継続	○	2課	中村・大井	毎日	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷
7	廃棄物削減	分別の徹底	分別廃棄箱の設置	必要数の確認と写真付き表示、維持確認		2課	望月み	毎日	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷
8		廃棄物の削減	荷崩れ防止用ひも類の再利用	再利用箱の設置とドライバーへの呼びかけ		2課	佐野	毎日	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷
9			廃棄物種類の把握	廃棄時における廃棄物種類の確認		1課	芳野	8月、12月			⟷				⟷					
10			通箱の管理	通箱の流通量・各社の使用状況を把握、使用方法の徹底	○	1課	伴野・芳野	'23/6月～24/5月	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷
11	環境経営推進	安全運転講習会	運送ドライバーに対する講習会実施	フォークリフト安全運転指導、エコドライブ推進		1課	伴野・芳野	'24/3月										⟷		
12		会員企業へ横展開	エコ21認証取得企業の増加	各社月度進捗ﾌｫﾛｰ、社外PR看板の設置、相互啓発活動の推進		管理課	松久保	'24/5月												⟷
13			エコ21への取り組み展開	通常総会の場にて環境への啓発活動推進		管理課	松久保	'23/7月		⟷										
14		会員企業への教育	品質教育の開催	品質向上による生産効率向上、不良低減の推進		管理課	川口・瀧	'23/7月～24/2月		⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷			
15			KPS（小糸生産方式）教育の開催	管理者に対するKPS教育の開催		管理課	川口・瀧	'23/10月～24/3月			⟷		⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷		
16				一般社員に対するものづくり基礎教育の開催		管理課	川口・瀧	'23/6月	⟷											
17			WEB研修の推進	WEBを活用した研修等の開催		管理課	川口・瀧	'23/6月～24/5月	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷
18	自社テーマ	太陽光発電システム	太陽光発電の効果確認	省エネ効果のデータ取得（CO2削減量）		管理課	遠山	毎月	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷
19		省エネへの更なる取組	請求書等の電子化	請求書等を電子化する事によるペーパレス化の推進		共通	川口	'23/6月～24/5月	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷
20		BCP策定	備品の確認	止水板及び排水ポンプの不具合、蓄電池の充電容量の確認		共通	伴野・中村 川口	'23/6月～24/5月	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷
21			クラウドサーバーの運用	システム及びファイルサーバーのクラウド化と日々の運用状況を確認		共通	川口	'23/6月～24/5月	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷
22			地震及び水災対策	災害対策の見直し、大雨時の対応及び水災を想定した訓練の実施	○	共通	松久保・伴野 中村・川口	'23/6月～24/5月	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷
23		構内セキュリティ強化	自社施設内のセキュリティの強化	構内、倉庫内の防犯カメラ増設による安全強化及び定期確認		共通	伴野・中村 川口	毎日	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷
24		サイバーセキュリティ強化	サイバーセキュリティの強化	EDR等のセキュリティ対策ソフトの導入及び定期確認		共通	川口	'23/6月～24/5月	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷
25		全員参加活動	エコアクション21推進委員会の開催	推進委員メンバーによる活動テーマの進捗フォロー		共通	川口	1回/2ヶ月	⟷		⟷		⟷		⟷		⟷		⟷	
26			改善活動	「私の提案」の提出件数の向上		共通	全従業員	'23/6月～24/5月	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷
27			実績確認会議の開催	有休取得、残業時間、物流・保管費用フォロー		共通	松久保	1回/1ヶ月	⟷	⟷		⟷			⟷		⟷	⟷		⟷
確認印				環境管理責任者					川口	川口	川口	川口	川口	川口	川口	川口	川口	川口	川口	川口
				代表者					－	－	松久保	－	－	松久保	－	－	松久保	－	－	松久保

5. 環境経営目標の達成状況及び評価 ①

■CO2排出量の削減

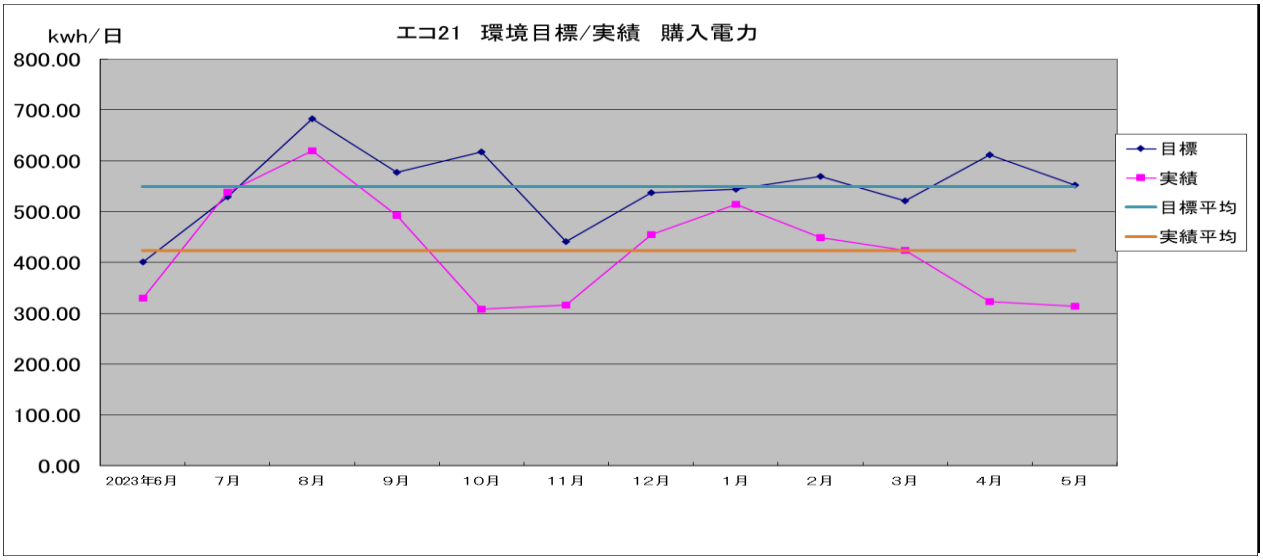


■評価結果

6～8月	項目	単位	目標	結果	判定
	排出量	kg-CO2/日(総量)	367.9	332.9	○
		kg-CO2/台(月原単位)	92.3	84.7	○
	PDCA評価	・総量、原単位ともに目標をクリア出来ており問題無し。			
9～11月	項目	単位	目標	結果	判定
	排出量	kg-CO2/日(総量)	368.9	269.1	○
		kg-CO2/台(月原単位)	99.9	72.6	○
	PDCA評価	・総量、原単位ともに目標をクリア出来ており問題無し。			
12～2月	項目	単位	目標	結果	判定
	排出量	kg-CO2/日(総量)	184.2	129.3	○
		kg-CO2/台(月原単位)	45.2	31.7	○
	PDCA評価	・総量、原単位ともに目標をクリア出来ており問題無し。 ・12月1日より静岡Greenでんきの供給が開始となり、CO2の排出量が実質ゼロとなった。 本件に関して関係者に各資料の対応方法を確認した際、CO2排出量の目標と 実績値の差が大きくなる事から、12月以降の目標を修正する事となった。			
3～5月	項目	単位	目標	結果	判定
	排出量	kg-CO2/日(総量)	161.3	114.6	○
		kg-CO2/台(月原単位)	39.6	29.2	○
	PDCA評価	・総量、原単位ともに目標をクリア出来ており問題無し。			
年度合計	項目	単位	目標	結果	判定
	排出量	kg-CO2/日(総量)	272.5	226.8	○
		kg-CO2/台(月原単位)	69.3	58.4	○
	代表者ｺﾒﾝﾄ	・CO2の排出に大きな影響がある電気については静岡Greenでんきへの変更を行い、CO2排出量を25%削減した。 ・次年度もCO2の排出抑制に繋がるカーボンニュートラルLPGの導入等を推進していく。	年間総量目標 66,483kg-CO2/年 年間総量実績 56,031kg-CO2/年	年間原単位目標 831.0kg-CO2/台 年間原単位実績 700.3kg-CO2/台	

5. 環境経営目標の達成状況及び評価 ②

■電力使用量の削減

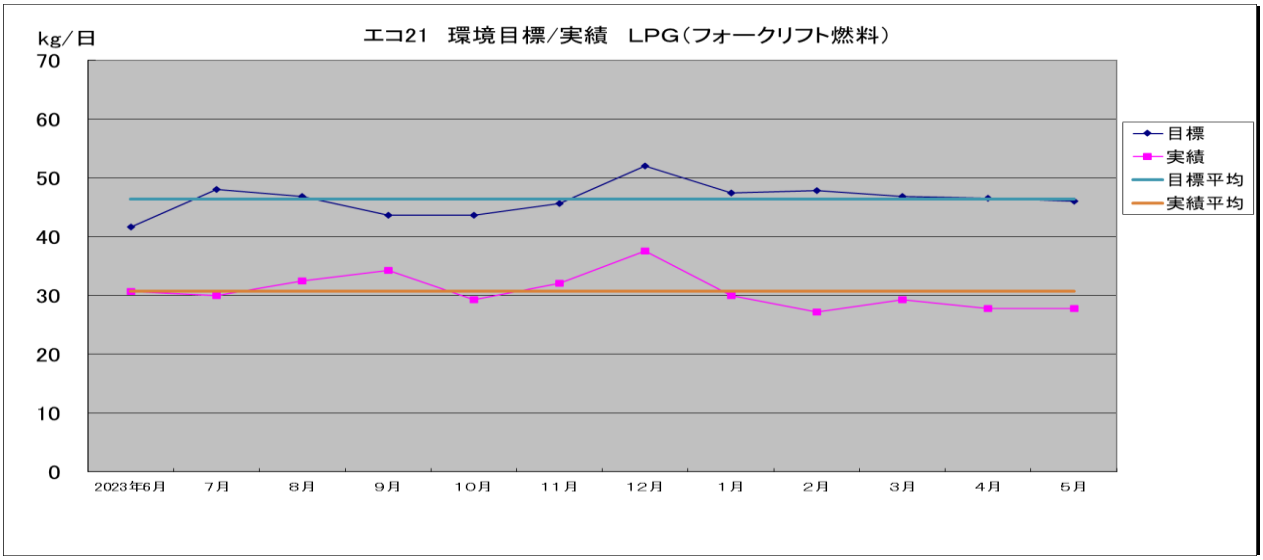


■評価結果

6～8月	項目	単位	目標	結果	判定
	使用量	kwh/日(総量)	537.5	501.0	○
		kwh/台(月原単位)	134.2	125.2	○
	PDCA評価	・総量、原単位ともに目標をクリア出来ており問題無し。 ・中電の節電プログラムを利用し、電気の使用量の抑制に努めた。			
9～11月	項目	単位	目標	結果	判定
	使用量	kwh/日(総量)	545.5	372.4	○
		kwh/台(月原単位)	147.6	100.4	○
	PDCA評価	・総量、原単位ともに目標をクリア出来ており問題無し。 ・CO2排出量の低減の為、10月度理事会にて静岡Greenでんきの導入を承認。 12月1日より切り替え開始。			
12～2月	項目	単位	目標	結果	判定
	使用量	kwh/日(総量)	550.2	472.7	○
		kwh/台(月原単位)	135.4	115.8	○
	PDCA評価	・総量、原単位ともに目標をクリア出来ており問題無し。 ・12月1日より静岡Greenでんきへの変更を行い、CO2の排出量が実質ゼロとなった。 ・引き続き、デマンドによる監視、使用量の抑制を行う。			
3～5月	項目	単位	目標	結果	判定
	使用量	kwh/日(総量)	561.7	353.4	○
		kwh/台(月原単位)	138.0	90.1	○
	PDCA評価	・総量、原単位ともに目標をクリア出来ており問題無し。 ・デマンドの履歴より夏場のピークカットが出来る様に、従業員全員が協力する旨、 エコ委員会にて検討した。			
年度合計	項目	単位	目標	結果	判定
	使用量	kwh/日(総量)	546.1	419.2	○
		kwh/台(月原単位)	138.8	107.9	○
	代表者ｺﾒﾝﾄ	・総量、原単位ともに目標をクリア出来ており問題無し。 ・次年度もデマンド装置による日々の電力監視を実施し、日々のピーク管理を厳しく行う。		年間総量目標 133,251kwh/年 年間総量実績 103,544kwh/年	年間原単位目標 1,665.6kwh/台 年間原単位実績 1,294.3kwh/台

5. 環境経営目標の達成状況及び評価 ③

■LPG使用量の削減

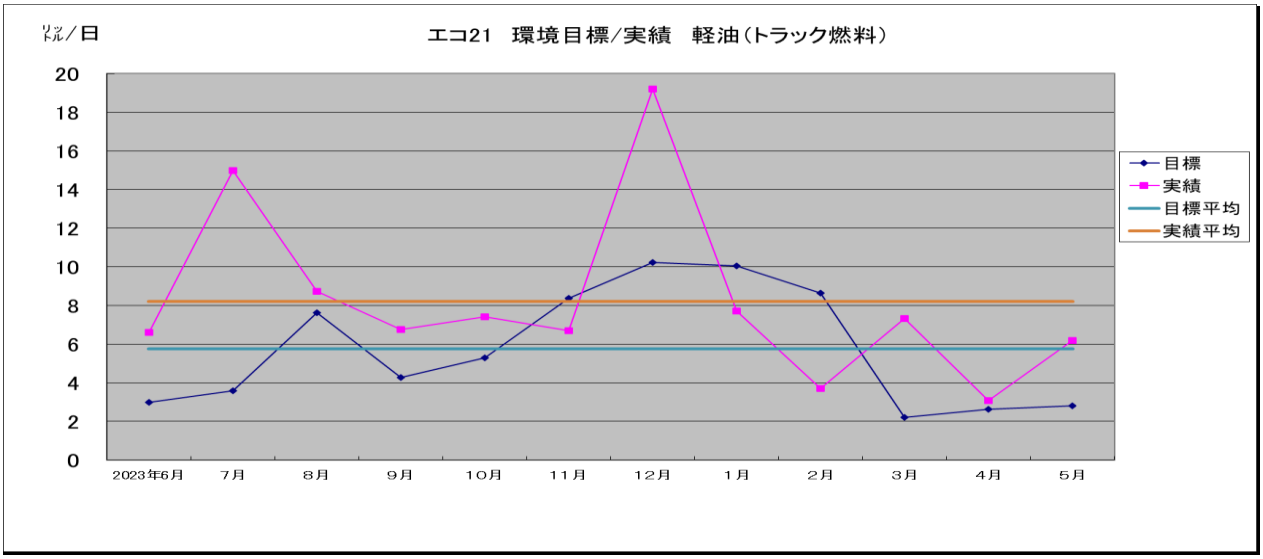


■評価結果

6～8月	項目	単位	目標	結果	判定
	使用量	kg/日(総量)	45.5	31.5	○
		kg/台(月原単位)	11.5	8.0	○
	PDCA評価	・総量、原単位ともに目標をクリア出来ており問題無し。			
9～11月	項目	単位	目標	結果	判定
	使用量	kg/日(総量)	44.3	31.9	○
		kg/台(月原単位)	12.0	8.6	○
	PDCA評価	・総量、原単位ともに目標をクリア出来ており問題無し。			
12～2月	項目	単位	目標	結果	判定
	使用量	kg/日(総量)	49.1	31.6	○
		kg/台(月原単位)	12.1	7.8	○
	PDCA評価	・総量、原単位ともに目標をクリア出来ており問題無し。			
3～5月	項目	単位	目標	結果	判定
	使用量	kg/日(総量)	46.5	28.3	○
		kg/台(月原単位)	11.4	7.2	○
	PDCA評価	・総量、原単位ともに目標をクリア出来ており問題無し。			
年度合計	項目	単位	目標	結果	判定
	使用量	kg/日(総量)	46.3	30.7	○
		kg/台(月原単位)	11.8	7.9	○
	代表者ｺﾒﾝﾄ	・総量、原単位ともに目標をクリア出来ており問題無し。 ・引き続き、カーボンニュートラルLPGの導入を検討すると共にLPGの使用量を注視していく。		年間総量目標 11,293kg/年 年間総量実績 7,577kg/年	年間原単位目標 141.2kg/台 年間原単位実績 94.7kg/台

5. 環境経営目標の達成状況及び評価 ④

■軽油使用量の削減

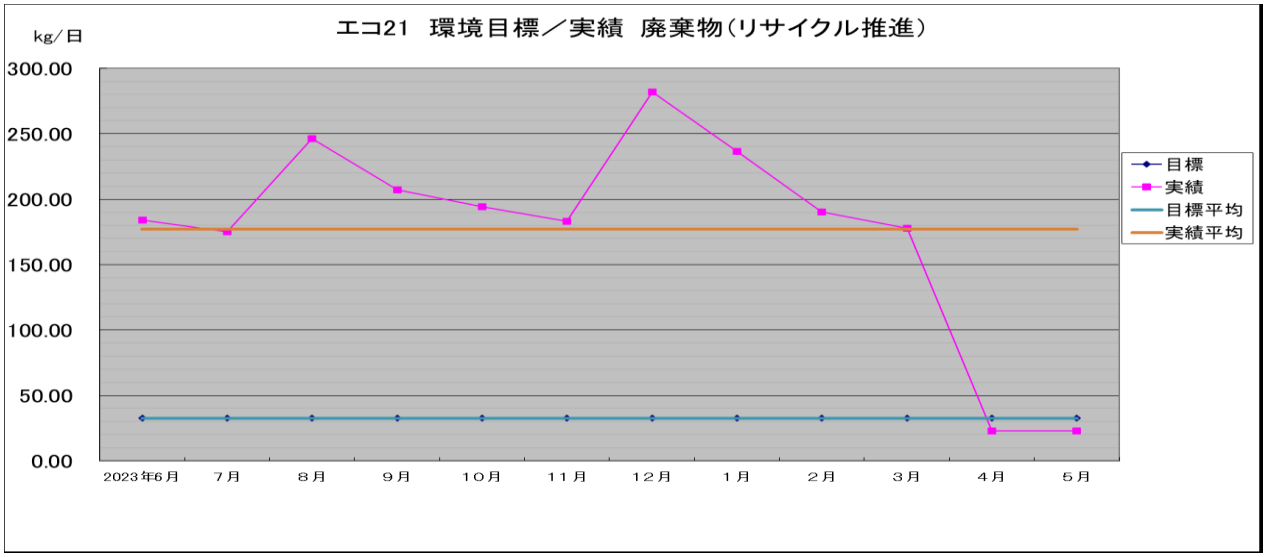


■評価結果

6～8月	項目	単位	目標	結果	判定
	使用量	ﾘｯﾄﾙ/日(総量)	4.7	10.2	×
		ﾘｯﾄﾙ/台(月原単位)	1.1	2.6	×
	PDCA評価	・総量、原単位共に目標をクリア出来なかった。 ・自社4t車を使用し、小糸榛原工場向けの積み残しの引き取りを行ったが、 各社の運賃を抑えた便の増設を検討。 ・台風対策に伴う荷物の運搬を行った為。			
9～11月	項目	単位	目標	結果	判定
	使用量	ﾘｯﾄﾙ/日(総量)	6.0	7.0	×
		ﾘｯﾄﾙ/台(月原単位)	1.6	1.9	×
	PDCA評価	・総量、原単位共に目標をクリア出来なかった。 ・小糸の休出対応に伴い、事前に計画・対応を行い、自社4t車を使用しない 計画であったが、積み残しが発生した事で急遽自社4t車を使用した。			
12～2月	項目	単位	目標	結果	判定
	使用量	ﾘｯﾄﾙ/日(総量)	9.6	10.2	×
		ﾘｯﾄﾙ/台(月原単位)	2.4	2.5	×
	PDCA評価	・総量、原単位共に目標をクリア出来なかった。 ・荷量の増加に伴う積み残し、納入回数が変更した便のドライバーの拘束時間が 増加する為、一部工程を自車4t車にて対応を行った。			
3～5月	項目	単位	目標	結果	判定
	使用量	ﾘｯﾄﾙ/日(総量)	2.7	5.5	×
		ﾘｯﾄﾙ/台(月原単位)	0.6	1.4	×
	PDCA評価	・総量、原単位共に目標をクリア出来なかった。 ・荷量の増加に伴う積み残し対応は落ち着いてきたが、便の立ち上げに伴う対応を行った。 ・5月下旬の台風に伴う製品・通箱の整理・片付け等を実施した。 水災以後、危険な可能性がある場合は対策を実施せざるを得ない。			
年度合計	項目	単位	目標	結果	判定
	使用量	ﾘｯﾄﾙ/日(総量)	5.6	13.8	×
		ﾘｯﾄﾙ/台(月原単位)	1.4	3.5	×
	代表者ｺﾒﾝﾄ	・荷量の変動(増加)に伴う対応を余儀なくされた。ドライバーの拘束時間を考慮しつつ、路線の見直し、調整を進めて行く。 ・台風・豪雨対策の負担が軽減する方法を検討していく。	年間総量目標 1,381ﾘｯﾄﾙ/年 年間総量実績 3,407ﾘｯﾄﾙ/年		年間原単位目標 17.2ﾘｯﾄﾙ/台 年間原単位実績 42.5ﾘｯﾄﾙ/台

5. 環境経営目標の達成状況及び評価 ⑤

■廃棄物の削減



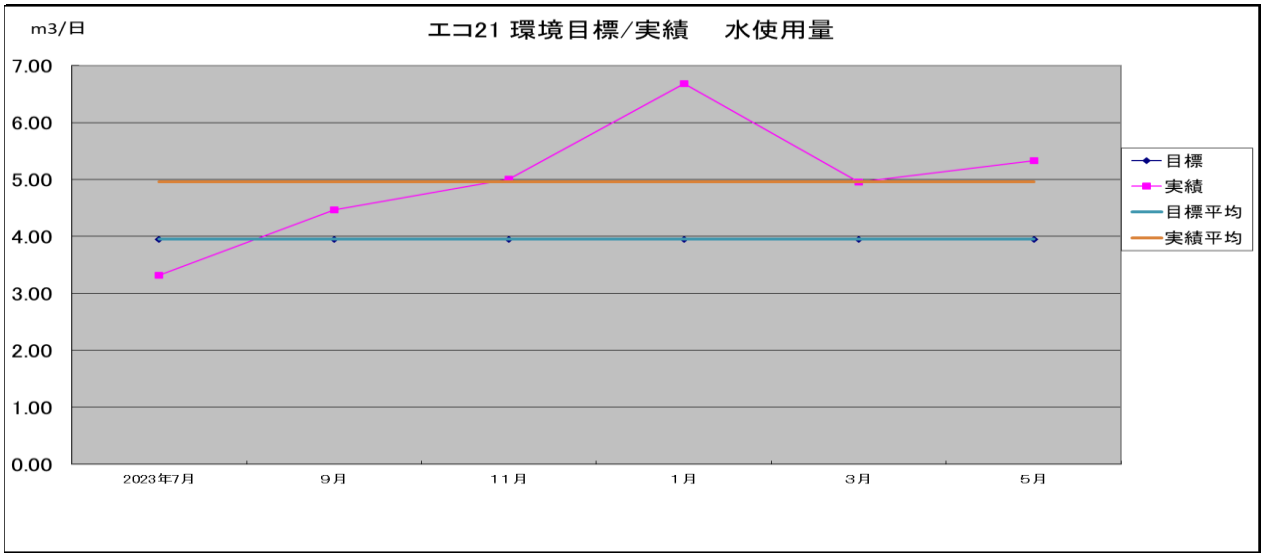
■評価結果

6～8月	項目	単位	目標	結果	判定
	廃棄量	kg/日(総量)	32.5	204.3	×
		kg/台(月原単位)	8.3	51.4	×
	PDCA評価	・総量、原単位共に目標をクリア出来なかった。 ・専用箱採用増による汚損箱の返却増により、空箱の廃棄行った。 廃棄量削減に向け、各社で在庫保管用でも良いので通箱を使用させる事を検討。			
9～11月	項目	単位	目標	結果	判定
	廃棄量	kg/日(総量)	32.5	194.9	×
		kg/台(月原単位)	8.3	52.7	×
	PDCA評価	・総量、原単位共に目標をクリア出来なかった。 ・専用箱採用増による汚損箱の返却増により、空箱の廃棄行った。 廃棄量削減に向け、現場担当者が通箱の洗浄を実施。			
12～2月	項目	単位	目標	結果	判定
	廃棄量	kg/日(総量)	32.5	236.2	×
		kg/台(月原単位)	8.3	57.9	×
	PDCA評価	・総量、原単位共に目標をクリア出来なかった。 ・専用箱採用増による汚損箱の返却増により、空箱の廃棄行った。 ・廃棄量削減に向け、現場担当者が通箱の洗浄を実施、 在庫保管用に利用しても良いと働きかけ。			
3～5月	項目	単位	目標	結果	判定
	廃棄量	kg/日(総量)	32.5	74.7	×
		kg/台(月原単位)	8.3	19.4	×
	PDCA評価	・総量、原単位共に目標をクリア出来なかった。 ・再資源化率の向上を図れる産廃業者の選定を進める事とした。			
年度合計	項目	単位	目標	結果	判定
	廃棄量	kg/日(総量)	32.5	176.3	×
		kg/台(月原単位)	8.2	45.4	×
	代表者ｺﾒﾝﾄ	・通箱の廃棄抑制の為、通箱の洗浄等を実施したが、廃棄量を削減出来なかった。 ・次年度は、産廃業者・廃棄物全体を見直し、再資源化率の向上を推進していく。 ・総排出量に対して87．5%を再資源化している。	年間総量目標 7,918kg/年 年間総量実績 43,547kg/年	年間原単位目標 98.9kg/台 年間原単位実績 544.3kg/台	

*産業廃棄物の年間総量実績は、一般廃棄物と産業廃棄物の総排出量合計である。
*一般廃棄物は、負荷の自己チェックの一般廃棄物総排出量を使用。

5. 環境経営目標の達成状況及び評価 ⑥

■水使用量の削減



■評価結果

6～8月	項目	単位	目標	結果	判定
	水使用量	㎥/日	4.0	3.4	○
	PDCA評価	・目標をクリア出来ており問題無し。 ・猛暑による路面温度上昇を抑える為、散水を実施。これにより、路面の歪みやわだちの発生を防止する。 ・通箱の廃棄量抑制の為、現場担当者が空箱の洗浄を実施。			
9～11月	項目	単位	目標	結果	判定
	水使用量	㎥/日	4.0	4.7	×
	PDCA評価	・目標をクリア出来なかった。 ・通箱の廃棄量抑制の為、現場担当者が空箱の洗浄を実施。 ・現場担当者によるリフトの洗車、路面の砂やタイヤカスの洗い流しを実施。これにより、倉庫内への砂やゴミの侵入を抑制する。			
12～2月	項目	単位	目標	結果	判定
	水使用量	㎥/日	4.0	6.7	×
	PDCA評価	・目標をクリア出来なかった。 ・引き続き、通箱の廃棄量を抑える為、担当者が空箱の洗浄を実施。 ・又、年末に自車4t車及びフォークリフトの洗車を行った。			
3～5月	項目	単位	目標	結果	判定
	水使用量	㎥/日	4.0	5.1	×
	PDCA評価	・目標をクリア出来なかった。 ・引き続き、通箱の廃棄量を抑える為、担当者が空箱の洗浄を実施。			
年度合計	項目	単位	目標	結果	判定
	水使用量	㎥/日	3.9	4.9	×
	代表者ｺﾒﾝﾄ	・通箱の廃棄抑制の為、空箱の洗浄を実施した事で水の使用量が増加した。 ・次年度は目標を達成すべく、状況を注視していく。		年間総量目標 964㎥/年 年間総量実績 1,215㎥/年	

5. 環境経営目標の達成状況及び評価 ⑦

■グリーン調達の推進

内 容	評価結果
・グリーン調達を活動テーマに加え消耗備品の購入の際にエコマーク付き商品の購入を実施している。	○
・対象アイテムを把握し、定量的に購入品目や購入数・購入額を捉え活動を実施している。	○
・エコマーク商品の調達比率（金額ベース）に於いて、目標30%に対し実績87%となり目標をクリア出来た。 （文具等購入金額合計 239，360円/年に対しエコ商品購入金額計 208，588円/年）	○

■環境経営推進

内 容		評価結果
・傘下の会員企業を巻き込んで環境経営に取り組むために、組合事務局自らが環境認証取得し、さらに社外向け認証かんばんの設置、会員企業の経営者が集う機会(理事会・総会等)及びHPでの啓発活動、太陽光発電システムの効果について継続確認の実施、物流センター構内のLED化に取り組み、更にカーボンニュートラルの取り組みとして2023年12月より静岡Greenでんきへの切り替えを行った。 ・会員企業に対しエコアクション21活動への取組みについての報告並びに会員企業の認証登録継続と新たな取得企業の増加に向けての活動を推進していく。		○
ものづくり基礎教育（DVD教育）	・親企業である小糸製作所のものづくりの考えを会員企業で共有すべく教育を開催した。 ・コロナ禍であることから教育用DVDを貸し出し各社で受講して頂いた。 日時 2023年6月5日（月）～2023年7月21日（金） 参加　114名（30社） 内容　「車両ランプの概要」、「KPS基礎」、「技能員基礎」、「品質基礎」	○
KPS教育（基礎・実践）	・親企業である小糸製作所のKPS（小糸生産方式）の考えを会員企業で共有すべく教育を開催した。 ・受講者からのもっと実践的な講座を開講して欲しいとの要望に応え、実践教育を新たに開講した。 日時　基礎：2023年11月、12月、2023年1月、2月（計4回）、実践：2023年10月 場所　小糸製作所　静岡工場 参加　基礎：22名（18社）、実践：5名（4社） 内容　基礎：「工程視察」、「KPS座学」、「理解度試験」、「困り事ｸﾞﾙｰﾌﾟﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ」他 実践：「改善活動に関する座学」、「各社毎の改善テーマの報告」、他	○
安全運転講習会	・共同物流で運送委託している運送会社のドライバーに対し2023年度の事故発生状況、安全取組状況お願い事項の資料を作成し各運送会社へ展開し活用して頂いた。 日時　2024年3月25日（土） 場所　小糸協力会3階会議室及びZoomを併用してのWEB配信 参加　142名（24社） 内容　「事故発生状況と対策」、「協力会安全作業の取組」、「止水板設置訓練」、他	○

■自社テーマ

テーマ名	内 容	評価結果
太陽光発電システムの効果確認	・物流センター屋上スペースを活用して、太陽光発電システムを設置している。 ・設置の狙いは、①CO2削減、②傘下会員企業に先駆けた再生エネルギー導入促進、 ③巨大地震等有事での非常用電源の確保等である。 〈設備概要〉　太陽光パネル枚数　228枚 発電期間　2023年6月1日～2024年5月31日 発電量予測　61,445kWh/年　CO2削減予測　31,521kg-CO2/年 発電量実績　60,949kWh/年　CO2削減実績　31,266kg-CO2/年 売電金額　2,388千円/年　予測に対する実績差　99.1% ・評価結果：年間発電量は通常通りであったものの、天候不順等により発電量が予測に未達。	△

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

作成　2019年1月15日

改定　2019年5月31日

1. 環境関連法規等の遵守状況（年度末に実施）

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありません。

法規等の名称		適用内容	備考（規制基準値、他）	遵守確認日
環境基本法				
循環型社会形成推進基本法				
廃棄物処理法	第12条第2項	・保管施設の表示と保管基準の遵守	表示板掲示	○
	第12条第5項	・収集運搬業者及び処分業者の委託契約	契約書、業者の許可書	○
静岡市産業廃棄物の適切な処理に関する条例	第12条の3第2項 第12条の3第6項	・マニフェスト管理	票の保管（5年間）	○
	第12条第6項	・委託契約書の管理	最新版保管管理	○
	第12条の3第7項	・産業廃棄物管理票交付等状況報告書提出	知事等への提出	○
		・産業廃棄物処理の委託先の実地確認	実地確認後報告書作成	○
騒音規制法 静岡県生活環境保全条例	第6条	・騒音に関する特定施設の届出	特定施設の届出 （冷凍機出力：3.75kW以上 エアコン6台が該当）	○
		・特定施設からの騒音に関する規制基準の遵守	規制基準（第2種区域）	○
浄化槽法	第7条、第8条	・水質検査、保守点検	業者管理	23.8.8
			4回／年（3ヶ月に1回）	23.11.28
				24.2.14
				24.5.21
	第9条	・清掃	必要時	23.6.13
	第11条	・定期検査	業者管理（1回／年）	24.1.31
フロン排出抑制法	第16条	・簡易点検（外観目視点検）	4回／年（3ヶ月に1回）	○
		・定期点検（業者点検）	3年に1回	－

2. 違反・訴訟等の有無

関係当局よりの違反の指摘及び利害関係者からの訴訟等は過去3年間ありません。

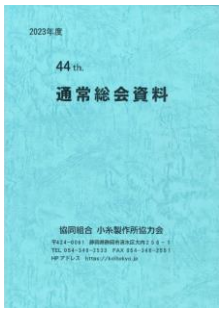
実施日　：　2024年5月31日　　環境管理責任者　：　川口 晃一

7. 次年度の環境経営計画(2024年度)

作成:2024.6.1

No	狙い	計画		実施内容	重点項目	担当課	担当者	チェック頻度
1	CO2排出量削減	エアコン管理	エアコンの設定温度見直し	季節別温度設定(夏27℃、冬20℃)		共通	瀧・青山青野	毎日
2		LED灯	未消灯エリアの拡大	ゾーン別SW活用、LED灯の間引き点灯		共通	川口・中村青野	毎日
3		フォークリフト管理	安全運転(速度リミッター及びドライブレコーダー)	ドライバーへの安全運転啓発活動推進、ドライブレコーダーの確認		1課	芳野・深澤	毎日
4			未使用時エンジン停止	ステッカー貼付、維持確認		1課	芳野・深澤	毎日
5			LPGのCO2排出量の削減	フォークリフト用のLPGをカーボンニュートラルLPGへ切り替えを検討		管理課	川口	24/6月～25/5月
6		契約電力の見直し	電力監視デマンド装置の活用	アラーム発生時のｴｱｺﾝ使用抑制の継続	○	2課	中村・大井	毎日
7	廃棄物削減	分別の徹底	分別廃棄箱の設置	必要数の確認と写真付き表示、維持確認		2課	望月み	毎日
8			廃棄物種類の把握	廃棄時における廃棄物種類の確認		1課	芳野	8月、12月
9		管理	産廃業者の検討	廃棄物の再資源率を向上させる為、産廃業者の見直しを実施	○	管理課	川口	23/6月～24/5月
10			通箱の管理	通箱の流通量・各社の使用状況を把握、使用方法の徹底	○	1課	伴野・芳野	24/6月～25/5月
11	環境経営推進	安全運転講習会	運送ドライバーに対する講習会実施	フォークリフト安全運転指導、エコドライブ推進		1課	伴野・芳野	25/3月
12		会員企業へ横展開	エコ21認証取得企業の増加	各社月度進捗ﾌｫﾛｰ、社外PR看板の設置、相互啓発活動の推進		管理課	松久保	23/6月～24/5月
13			エコ21への取り組み展開	通常総会の場にて環境への啓発活動推進		管理課	松久保	24/7月
14		会員企業への教育	品質教育の開催	品質向上による生産効率向上、不良低減の推進		管理課	川口・瀧	24/7月～25/1月
15			KPS(小糸生産方式)教育の開催	管理者に対するKPS教育の開催		管理課	川口・瀧	24/10月～25/3月
16				一般社員に対するものづくり基礎教育の開催		管理課	川口・瀧	24/6月～24/7月
17			WEB研修の推進	WEBを活用した研修等の開催		管理課	川口・瀧	24/6月～25/5月
18	自社テーマ	太陽光発電システム	太陽光発電の効果確認	省エネ効果のデータ取得(CO2削減量)		管理課	遠山	毎月
19		BCP策定	備品の確認	止水板及び排水ポンプの不具合、蓄電池の充電容量の確認		共通	伴野・中村川口	24/6月～25/5月
20			クラウドサーバーの運用	システム及びファイルサーバーのクラウド化と日々の運用状況を確認		共通	川口	24/6月～25/5月
21			地震及び水災対策	災害対策の見直し、大雨時の対応及び水災を想定した訓練の実施	○	共通	松久保・伴野中村・川口	24/6月～25/5月
22		構内セキュリティ強化	自社施設内のセキュリティの強化	構内、倉庫内の防犯カメラ増設による安全強化及び定期確認		共通	伴野・中村川口	毎日
23		サイバーセキュリティ強化	サイバーセキュリティの強化	標的型攻撃メールに対する社内訓練を定期的に実施		共通	川口	24/6月～25/5月
24		全員参加活動	エコアクション21推進委員会の開催	推進委員メンバーによる活動テーマの進捗フォロー		共通	川口	1回/2ヶ月
25			改善活動	「私の提案」の提出件数の向上		共通	全従業員	24/6月～25/5月
26			実績確認会議の開催	有休取得、残業時間、物流・保管費用フォロー		共通	松久保	1回/1ヶ月

8. 環境経営計画の取り組み抜粋（2023年度）

項目	実施日	内　容	評価
環境経営推進	2023.7.28	・第44回通常総会にて会員企業に対しエコアクション21取組内容展開 及び啓発活動実施 	○
	2023.10 ～2024.2	・会員企業に対するKPS教育の実施 	○
	2024.3.23	・委託運送会社に対する安全講習会を会場とWEB（Zoom）を併用して開催 	○
自社テーマ	2023.6～ 2024.5	・太陽光発電による効果確認（月毎の省エネ効果データの取得） ・デマンド装置を利用したピーク電力のカット 	○
	2023.9.12	・止水板設置訓練 ・新しく変更した止水板の設置方法を従業員に周知 	○

9. 代表者による全体の評価及び見直し・指示

協同組合小糸製作所協力会

（活動期間 2023年 6月 1日 ～ 2024年 5月 31日）　　専務理事 松久保 統一

作成 2024 年 6月 22日

1. 全体の評価

・ここ数年、物流事業収入が伸びており作業量、荷量共に増加傾向であったことから基準年度の見直しを行ったうえで活動を進めてきた。(2015年度基準→2016年度基準)
その結果、CO2排出量、購入電力、LPG使用量の項目において、
目標を達成することが出来た。
・CO2排出量に関しては、2023年12月より静岡Greenでんきを導入し、電気のCO2の排出は実質ゼロとなり、全体のCO2排出量の削減に大きく貢献した。
・廃棄物削減に関しては、汚損箱の返却増加により総廃棄量ベースでは総量、原単位共に目標未達となった。廃棄物の内、再資源化率は、87．5%に留まっており、改めて廃棄物を見直し、廃棄物の再資源化が出来る産廃業者の検討・選定を開始した。

今後は、カーボンニュートラルに向け更なるCO2排出量削減への取り組み及び水災対策のブラッシュアップ等、課題を着実に達成して参ります。

2. 見直しおよび変更指示

項　目	評　価
環境経営方針	環境経営方針は、2017年度版への変更を行っており建屋のLED化も完了し、エアコンも更新した為、更新機器の実績把握と更なる効率的活用を進めて行く。
環境経営目標	中期目標の基準ベースは2016年度のままとし、次年度も進めて行く。重点項目を設定し、特に重点項目に力を入れて取り組んで行く。
環境経営計画	全員参加をより進めていく為、職場を代表するスタッフによる推進委員会の年間スケジュールを作成し全員参加の活動を充実させる。
環境経営システム	3ヶ月毎に目標達成と異常値等の結果に対する課題を記載する事でPDCAサイクルを回すことができており当面は、この進め方を継続する。

〈全体評価のための個別評価〉

項　目	評　価
環境負荷自己チェック	どの様な環境負荷があり、また、それがどの程度の量なのか把握出来ている。
環境取組自己チェック	環境経営計画の取組みとして太陽光の設置、照明のLED化、エアコンの更新等が完了。又、日常的な節電への取り組みについても従業員の習慣となった。今後も習慣化した取組みを継続して取組んで行く。
環境経営目標達成状況	廃棄物の削減に関しては、総廃棄量ベースにおいて目標未達である。主な要因は、汚損した共通箱の廃棄であるが全量再資源化を行っている。他にも再資源化可能な廃棄物が無いか見直しを開始した。
環境経営計画の達成状況	トータルとしては、ほぼ計画通りに達成出来ている。
該当環境関連法規等の遵守および制定・改廃状況	広範囲に該当する法規を調査し規制基準の遵守に取り組んでいる。浄化槽法第11条検査も実施した。
教育・訓練の実施状況	班長以上のスタッフにて、活動の進捗フォローをしている。社内推進委員会の活動を社内へ展開すると同時に提案制度を設け全員参加の活動を高めている。
外部とのコミュニケーションの状況	外部からの苦情・要望事項は特に無し。引き続きエコ21コーナーへの環境経営レポートの設置を行い自由に持ち帰られる環境作りを継続していく。
規定類、手順書等の関連文書および関連記録の最新版管理の状況	2017年度版ガイドラインに基づいた環境経営マニュアル並びに付表類の作成を実施済である。又、関連文書等に関しては、事務所内にて管理者により管理されている。